授業科目名： 特別活動の指導法 （中等）	教員の免許状取得のための 必修科目（選択科目）	単位数： １　単位	担当教員名：高橋正尚 担当形態：単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
各科目に含めることが 必要な事項	特別活動の指導法		

「学位授与の方針」との関係

A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を超えて統合しようとする意志を持つこと。

B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。

D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。

F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

（１）特別活動の意義や必要性を理解し、効果的な実践指導について考えることができる。

（２）学級活動の内容に即した学習指導案を作成し、実践することができる。

（３）生徒会活動の意義を理解し、生徒会活動の支援の在り方を実践することができる。

（４）学校行事の意義を理解し、企画や指導等が実践できる。

授業の概要

特別活動は、生徒が集団の一員として望ましい人間関係を形成し、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てることを目標としている。本講では学級活動・生徒会活動・学校行事の特別活動の内容について学修し、更にそこで求められている教師の実践的指導力を培うための基礎を学修する。

授業計画

教科書　（略号）

（１）『中学校学習指導要領解説　特別活動編』　→　A　（略号）

（２）『学級・学校文化を創る特別活動【中学校編】』　→　B　（略号）

第１回：特別活動の概要　（　B　P6～P17　）

第２回：特別活動の目標　（　A　P1～P31　）

第３回：学級活動の内容１（　A　P40～P73　）（　B　P20～P39　）

第４回：学級活動の内容２（　Ｂ　P40～P67　）

第５回：生徒会活動の内容１（　Ａ　P74～P91　）（　Ｂ　P70～P89 ）

第６回：生徒会活動の内容２　生徒会の指導方法　（　Ａ　P74～P91　）（　Ｂ　P70～P89 ）

第７回：学校行事の内容　（　Ａ　P92～P112　）（　Ｂ　P92～P107　）

第８回：学習活動の学習指導案の作成１　（　Ｂ　P126～P127　）

Ｂ　P32（事例１）～P64（事例16）の中から１つ選び、学習指導案を作成

第９回：学習活動の学習指導案の作成２

第１０回：新学習指導要領の要点　（　Ａ　P11～P109　）（　Ｂ　P6～P17　P126～P127　）

第１１回：特別活動の目標・内容・学習過程・指導計画作成上の留意点

第１２回：学級経営案、学習指導案の作成方法

第１３回：学級活動の学修指導案作成（グループワーク → 発表 → 改善 → 各自で作成）

第１４回：指導計画の作成にあたっての配慮事項　（　Ａ　P113～P138　）

第１５回：学校行事の指導計画書の作成（科目修得試験　レポート方式）

スクーリングでの学修内容

＊スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる。

＊スクーリングでは第10回～第13回を実施する。

教科書

（１）文部科学省　『中学校学習指導要領解説　特別活動編』

（２）文部科学省国立教育政策研究所　『学級・学校文化を創る特別活動【中学校編】』
東京書籍　2016年

（３）特別活動の指導法テキスト
※学生ポータルサイトからダウンロードすること。

参考文献

渡部邦雄　編　『特別活動指導法』日本文教出版　2018

学生に対する評価

レポート評価（２５%）、スクーリング評価（２５%）、科目修得試験（５０%）の割合で総合して評価する。